たけた市議会だより

NO.81

令和8年11月1日発行

TAKETA Gikai News

竹田市議会



城原八幡社　八雲払い

- 一般質問 …… 2～6
- 第3回定例会 一般会計補正予算 …… 7
- 決算審査報告 …… 7
- 第3回定例会 議決結果 …… 8
- 所管調査 …… 9
- 各種研修会 …… 10
- 行政視察報告 …… 11

一般質問 市政を問う

9月7日・8日、9人の議員が一般質問を行いましたので、その内容を要約してお知らせします。





中村　光三

災害関連死を防ぐための避難所環境整備について

Q　今回の地震からどのような教訓を得て、防災計画や避難所運営に反映しようとしているか。

A　地域防災計画や各種マニュアルなどの整合性を高めるとともに、備蓄の強化や企業との協定書締結などについても一層の推進を行い総合的な災害対応能力の強化に取り組む。

Q　長期避難に対応できる体制となっているか。

A　給水、トイレなどの基本的な生活機能は確保できる体制だが、空調設備、通信環境など、避難者の生活環境の質にかかわる部分は、引き続き整備を進める必要がある。



屋外用簡易トイレ



防災倉庫備蓄状況

シカ・イノシシ等の捕獲個体の処理方法について

Q　捕獲者の負担軽減や衛生的な処理を進めるため、焼却施設への受け入れを含め、新たな処理方法や支援対策を検討する考えはないか。

A　捕獲者の負担軽減や捕獲個体の適正かつ衛生的な処理を進めるためには、現在行っている、埋設処理や自家消費だけでなく、捕獲後の処理方法を多様化していくことが重要だと認識している。先進事例を参考にしながら、本市の実情に適した処理体制の構築について研究する。

その他質問　・各種学力調査における学力向上について

なお、原稿は質問議員本人が執筆しています。



賀籠六　めぐみ

多様な意見が反映される社会実現について

Q　各委員会、審議会、協議会等における女性委員の登用状況と市の女性参画の取組は。

A　女性委員の割合は、目標30%に対し、23.0%にとどまっている。各委員会等の女性構成比率の状況を踏まえ、結果を全庁へ周知し、積極的な登用を依頼している。女性が少ない理由として、各委員会等の規約等による充て職の制限や参画意識の希薄さに加え、参画を認め合える環境の不十分さなどが考えられる。

Q　委員登用のあり方について見直していくべきではないか。

A　今後は、規約等の改正や見直しとともに、各関係団体への働きかけや多様な人材の推薦をお願いしていく。

幼児教育について

Q　竹田地域の認定こども園化推進の考えは。

A　令和８年度を始まりとする竹田市長期総合教育計画では、幼稚園は存続する方針としており、現在は考えていない。

Q　竹田地域の保護者のニーズはどうなっているか。

A　第三期竹田市すこやか支援計画の中で、教育・保育のニーズ調査を行っている。アンケート調査の中では、施設として認定こども園化を求める保護者の声についての意見はなかった。



降園後の預かり保育事業のようす



工藤　忠孝

道の駅施設の再整備について

Q　中九州横断道路の開通を見据えた、交通流動の変化は道の駅にどのような影響と好機をもたらすか。

A　中九州横断道の延伸は大きな転換点であり、道の駅にとっても好機と考える。今まで以上に立ち寄りたくなる道の駅、目的地として選ばれる道の駅へ機能を高めていくことが重要である。

Q　国の道の駅重点支援制度や防災減災交付金を活用し再整備を図る考えはないか。

A　施設の老朽化への対応だけでなく、国の支援制度活用も視野に効果的な再整備のあり方について検討を進める。

Q　第二次竹田市総合計画の実現に向け、道の駅再整備を市の重要な攻めの投資と考えるが市長の決断と今後の展望は。

A　道の駅は、地域経済の活性化を支える重要な拠点であり、市民が将来に希望を持ち、若い世代が竹田で暮らし続けたいと思えるまちづくりを進めることが使命と考える。第二次竹田市総合計画の実現に向け、将来世代の投資という視点も持ち、道の駅再整備と機能強化に取り組んでいく。



道の駅たけた

その他質問

- 高齢者福祉の充実に向けた温泉施設の活用について
- 地域医療体制の充実強化について



佐藤　美樹

南海トラフ地震を想定した災害対応について

Q　市が保有する給水車は現在１台だが、増台すべきではないか。また、トイレトレーラーを導入してはどうか。

A　給水車の増台は、更新時期や他市の事例を研究し整備を検討する。トイレトレーラーについても今後検討する。



市所有の給水車

Q　仮設住宅の整備基準は。

A　被害状況や避難者数から総合的に判断する。住家50世帯以上の滅失で災害救助法が適用され設置となる。候補地は市内11カ所を選定している。

Q　災害による孤立集落の想定は。また事前・発災後の対応は。

A　最悪の場合、約20％の55集落が孤立すると想定。分散備蓄や防災訓練を進め、発災時はドローンや衛星通信で情報伝達や物資輸送を検討する。

建設分野の人材確保について

Q　市の土木・建築技術職員は充足しているか。

A　土木技術職員は１名欠員。建築技術職員も令和６年度から募集するも採用に至っていない。複数回の試験や情報発信に取り組む。

Q　民間建設事業者の人手不足への認識と対応は。

A　建築・土木・測量技術者の有効求人倍率は約９倍で、人材不足を認識している。外国人材やシニア人材の活用などを企業と一緒に考えていく。



後藤　建一

田んぼダムについて

Q　田んぼダム事業に取り組むメリットはなにか。

A　水田の貯水機能を活かし、排水口に排水量を抑制するための堰板を取り付け、田んぼに降った雨水などを一時的に田んぼに貯め、時間をかけてゆっくり排水し、地域の水路や河川の水位上昇を抑えることにより洪水被害が軽減できる。また田んぼダム事業の一部の工事費は多面的機能支払交付金を活用することにより費用が軽減される。

Q　大規模な工事の必要がなく、安価で効果の高い、田んぼダム事業の主な工事はなにか。

A　①排水口への堰板の設置。②田んぼダム仕様の排水桝の設置。③畦畔の補強、かさ上げなどである。

Q　竹田市内における今後の工事計画は。

A　令和６年度から令和15年度までの10年間計画で、竹田地域を中心に170haを目標としている。令和７年度までに推進面積は57.7haで推進率は33.9％である。

　目標達成に向け、多面的機能支払交付金事業に取り組んでいる組織に対し、工事費用がかからない、田んぼダム加算金の説明を行い、推進率のアップにつなげる。



田んぼダム

その他質問
- 温泉施設の衛生管理について
- 流域治水プロジェクトについて



副田　富雄

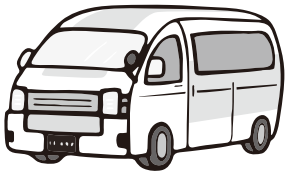
交通空白地域について

Q　本市の交通空白地域の現状について

A　公共交通の利便性が確保されている自治会数は、令和４年度の地域公共交通計画策定時には261地区であったが、令和６年度の実績では311地区まで増加した。

Q　人工知能を活用した、オンデマンドバスの運行が有効だと考えるが、現状は。

A　ＡＩを導入することにより、運行地域の拡大や、利便性の向上に繋がる可能性もあるため、豊後大野市や産山村など、近隣自治体の事例も参考にしながら、事業者との協議や調査を進めている。



観光ボランティアガイドについて

Q　観光客が観光ボランティアガイドを利用した件数は。

A　令和７年度のガイド活動実績は、旅行会社からの依頼が35件、個人からは33件である。

Q　今の状況で充足しているのか。

A　観光ボランティアガイドは、竹田の歴史や文化、地域の魅力を来訪者に直接伝える、重要な役割を担っているが、高齢化や若手人材の不足などの課題がある。





ボランティアガイド

その他質問　・人的受援計画の実効性と必要人員の事前把握について



阿南　智博

一人で暮らす高齢者世帯への対応について

Q　第９期高齢者福祉計画では、2020年の独居高齢者世帯数は1,881世帯となっている。直近の世帯数は。

A　令和７年度の国勢調査の結果はまだ発表されていないが、令和８年７月末の住民基本台帳では、65歳以上の独居高齢者世帯数は3,007世帯で、全世帯数9,641世帯の31.19％となっている。

Q　高齢者世帯が多い中で、独居世帯が急増している。高齢者福祉施策は行政もさまざまな取組を展開しているが、有事の場合の支援を含め、地域での支え合いの現状認識は。

A　市内７か所に「暮らしのサポートセンター」が設立され、「ちょっと困りの支援」や、広場事業など支え合い活動が展開されている。また地域におけるさまざまな既存の取組や組織などを活用しながら、見守り支援や社会参加に繋げる活動が展開されている。



みんなのひろば「まつもっと」

Q　サポートする側の高齢化も懸念材料となっている、ＩＣＴを活用した見守り支援などが検討できないか。

A　熱中症の危険など、室内の異変をセンサーが感知し、コールセンターに通報する「見守りセンサー」の導入に向け令和８年度実証実験を予定している。

その他質問　・地域包括ケア計画について



上島　貞子

豊後竹田駅周辺整備事業について

Q　現在の駅前整備事業は、計画全体の中でどの段階か。

A　交通空間については、規模や配置の骨格がほぼ固まった段階にある。令和８年度は、整備に必要となる一部用地の取得に向けた協議を進めている。今後の詳細な設計や測量等に向けた準備も進めている。市街地導水路整備についても、調査・測量作業に向けた準備を進めている。

Q　今後の計画において、市民の意見をどのように反映していくのか。

A　環境空間の利活用の方法、通路の雨よけ、公衆トイレ、駐輪場といった建築構造物において、竹田らしさを生かした景観づくりをテーマとしたワークショップなどを通じ、市民の意見を的確に把握したうえで、今後の設計に反映させていく。

Q　中心市街地全体の活性化に繋げるため、今後どのようなまちづくりを進める考えか。

A　市民や事業者、関係団体等へのアンケートを行いながら、多様な将来像を共有し、連携してまちづくりに取り組むための方向性を示す中心市街地活性化ビジョンの策定を進めていく。



8.27中心市街地活性化ビジョン第3回説明会資料抜粋

その他質問　・災害時における避難計画について



本郷　敦子

市民への情報発信について

Q　現在全戸に広報たけたを発行しているが、市民からの意見は。

A　令和４年度竹田市第二次総合計画を策定する際に実施したアンケートでは、約９割の方が広報たけたを重要な情報源として活用していることが分かった。公式ホームページなどで多世代に確実に情報が届くよう、紙とデジタルの両輪で発信している。

広報たけた

観光振興について

Q　観光プロモーション課が新設されて半年だが、現状の取組と今後の方向性は。

A　観光プロモーション課の発足から半年、「情報発信力の強化」「観光誘客の推進」「ふるさと納税による地域経済循環」「庁内人材育成」を柱に取組を進めている。市公式ＳＮＳや観光動画、物産展、JR九州との連携などを通じて竹田の魅力を発信し、認知度向上と誘客を図っている。ふるさと納税では、市内事業者が参画しやすい仕組みへ改善し、売上向上や販路拡大を目指す。また、専門家による職員研修を実施し、発信力の向上を図っている。

今後は、市民や事業者と一体となって竹田の魅力を発信し、交流や移住、地域経済の活性化につながる好循環の創出を目指す。

TAKETA
Follow me
竹田市最新情報をチェック!
フォローをお願いします



第３回定例会
令和８年度 一般会計補正予算

可決

8億9,548万5千円増額（総額:217億8,465万1千円）

令和８年第３回定例会・予算特別委員会が９月11日に開催され、付託された令和８年度一般会計補正予算第３号を慎重審査した結果、全会一致で可決されました。

補正予算の概要

歳出

◆総務費

地域産品創出事業者進出事業費　300万円
（企業誘致促進及びふるさと納税返礼品充実対策）
令和7年度決算剰余金処理に伴う
財政調整基金積立金　2億円
減債基金積立金　7,858万3千円

◆民生費

令和7年度事業費確定に伴う障害福祉、生活保護費等の国・県返納金　1億1,127万7千円

◆農林水産業費

先端的技術活用経営体育成対策事業　225万円

◆土木費

市道維持補修及び除草伐採作業等の道路維持補修事業　2,100万円
JR豊後竹田駅周辺整備事業　▲5,309万5千円

◆教育費

小学校の防犯カメラ設置費等（小学校費）　845万2千円

◆災害復旧費

梅雨の大雨と熊本地震に対する災害復旧事業費
農林水産施設災害復旧費　2億9,020万円
公共土木施設災害復旧費　1億3,470万円

歳入

市税	4,175万5千円
国庫支出金	4,279万円
県支出金	2億2,799万6千円
寄附金	1,350万円
繰越金	5億2,782万8千円
諸収入	5,735万6千円
市債	4,620万円
繰入金	▲7,656万9千円

決算審査特別委員会

令和７年度決算について 決算審査特別委員会で審査しました。

令和８年第３回定例会・決算審査特別委員会は９月17日と18日に開催され、令和７年度の事務事業に対する予算執行の確認や事業成果について審査しました。また今定例会から、決算審査の充実を図ることを目的に議会運営委員会において、審査方法のあり方の協議・研究を重ね、新たな取組として、質疑の事前通告制、委員間討議、次年度予算への意見を付した審査報告の取組を実施いたしました。委員会で付した意見は次のとおりです。

委員会から付した意見

ふるさと応援隊寄附金（ふるさと納税）
ふるさと応援隊寄附金は、市の貴重な自主財源。令和7年度からの減少要因の詳細な分析と周知方法の見直しも視野に寄附額増額に努めること。

飲用水改善事業
本事業は、市民のライフラインに直結する事業である。交付決定の迅速化を図るため、交付実績を踏まえた予算編成に努め、近年の物価高騰に対応した補助要件の見直し等も検討すること。

定住及び地域づくり推進費
定住推進費、地域づくり推進費をはじめ各補助事業について引き続き効果の検証に努めること。

長湯温泉療養文化館特別会計
本施設は、利用者数の減少が顕著である。減少要因の詳細な分析を行うとともに、他の観光施設と併せ、全庁的な情報発信と効果的なプロモーション活動に努めること。また、令和8年度から一般会計に移行したことから、経営状況の透明性の確保に配慮した決算資料の作成を検討すること。

水道及び簡易水道事業
これらの事業の有収率は大分県平均を下回る現状である。対策の見直しを検討するとともに、改善に向けた事業経営に努めること。

一般会計

区　分	決　算　額
歳　入	217億7,594万3,912円
歳　出	211億9,490万3,533円
繰越明許費繰越額	5,617万3,329円
実　質　収　支	5億2,486万7,050円

決算審査の結果	
一般会計	認定
特別会計	認定
事業会計	認定


議会から市長へ決算審査方法変更について申出しました。

議決結果

令和８年
第３回定例会
令和８年９月１日～30日

議案等の議決結果

●条例案

議案番号	件名	結果
議案第104号	竹田市認可地縁団体の印鑑の登録及び証明に関する条例の一部改正について	可決
議案第105号	竹田市災害弔慰金の支給等に関する条例の一部改正について	可決

●予算案

議案番号	件名	結果
議案第97号	令和８年度竹田市一般会計補正予算（第３号）について	可決
議案第98号	令和８年度竹田市立こども診療所特別会計補正予算（第２号）について	可決
議案第99号	令和８年度竹田市国民健康保険特別会計補正予算（第１号）について	可決
議案第100号	令和８年度竹田市後期高齢者医療特別会計補正予算（第１号）について	可決
議案第101号	令和８年度竹田市介護保険特別会計補正予算（第１号）について	可決
議案第102号	令和８年度竹田市浄化槽整備推進事業特別会計補正予算（第２号）について	可決
議案第103号	令和８年度竹田市簡易水道事業会計補正予算（第２号）について	可決

●決算認定案

議案番号	件名	結果
認定第１号	令和７年度竹田市一般会計歳入歳出決算の認定について	認定
認定第２号	令和７年度竹田市立こども診療所特別会計歳入歳出決算の認定について	認定
認定第３号	令和７年度竹田市長湯温泉療養文化館特別会計歳入歳出決算の認定について	認定
認定第４号	令和７年度竹田市国民健康保険特別会計歳入歳出決算の認定について	認定
認定第５号	令和７年度竹田市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定について	認定
認定第６号	令和７年度竹田市介護保険特別会計歳入歳出決算の認定について	認定
認定第７号	令和７年度竹田市浄化槽整備推進事業特別会計歳入歳出決算の認定について	認定
認定第８号	令和７年度竹田市久住高原荘特別会計歳入歳出決算の認定について	認定
認定第９号	令和７年度竹田市水道事業会計決算の認定について	認定
認定第10号	令和７年度竹田市簡易水道事業会計決算の認定について	認定
認定第11号	令和７年度竹田市農業集落排水事業会計決算の認定について	認定

●一般案

議案番号	件名	結果
議案第106号	字の区域の変更について	可決
議案第107号	工事請負契約の締結について	可決

●諮問案

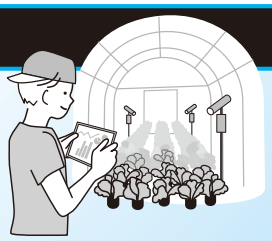
議案番号	件名	結果
諮問第１号	人権擁護委員候補者の推薦について	原案の者 適任

●請願・意見書案

議案番号	件名	結果
請願第３号	地方財政の充実・強化に関する意見書の提出についての請願	採択
意見書案第３号	地方財政の充実・強化に関する意見書	可決

常任委員会
所管事務調査

総務産建常任委員会



【調査日時】令和８年９月25日㈮　【調査テーマ】人口減少対策について
【調査事項】1. 農業施策における担い手不足対策について
2. スマート農業の取組について
【調査結果】引き続き閉会中の調査継続
【行政視察】日　　程　令和８年10月５日㈪～７日㈬　千葉県香取郡神崎町、茨城県猿島郡境町
調査内容　⑴人口減少対策について　●スマート農業を活用した担い手対策
●ふるさと納税による歳入確保対策
※視察報告は次号で掲載いたします。

社会文教常任委員会

【調査日時】令和８年９月28日㈪　【調査テーマ】食育推進の取組について
【調査事項】1. 食育推進計画について
2. 食育月間・食育の日の取組について
3. 児童、生徒（高校生含む）及び保護者への食育の取組について
4. 具体的な食文化の形成について
【行政視察】日　　程　令和８年10月21日㈬～23日㈮　長野県千曲市、長野県上田市
調査内容　⑴合宿誘致を含むスポーツツーリズムの推進について
⑵食育推進の取組について
※視察報告は次号で掲載いたします。

管内所管事務調査報告（学校給食共同調理場）

９月28日㈪、本市の食育推進の取組について調査研究するため、竹田市学校給食共同調理場に現地視察を行った。令和８年度から市内すべての給食調理場が統合し、市立幼稚園、小中学校、県立竹田支援学校を含む２園15校、計1350食を調理している。調理場の食育の特徴的な取組は、

①毎月19日「さわやかだ＆ふるさと献立」
さ（魚）わ（和食）や（野菜）か（海藻）だ（大豆、出汁）
②月一回のサフランライスとカレーの提供
③竹田市食育推進庁内連絡会議への参画
④児童と一緒に食材の下処理（皮むきなど）

を実施しており、さまざまな食育の取組を推進している。

また、児童・生徒の給食の時間と同時刻に実食させて頂いたが、汁物も温かく、二重構造の食缶の保温力の高さも確認できた。

衛生管理の面では、調理員の健康管理の徹底をはじめ、食材のＸ線検査による異物混入防止策、食缶や搬送用コンテナの入念な洗浄が行われていた。

今回の現地視察では、児童・生徒の活力になる安心安全な給食の提供体制の確認と食の大切さや感謝の気持ちを伝える食育の取組を確認することができた。今後も本常任委員会で行政視察等を行い、引き続き食育推進の取組について、調査研究する。


児童によるエンドウ豆の皮むきのようす





大分県 事業研修会



８月５日㈬、大分県の関係機関による事業研修会が開催されました。

まず、山本勝紀豊肥振興局長からご挨拶をいただき、研修会が開催されました。最初に豊肥管内の概況が説明され、その後各部長、所長より大分県が実施している事業について説明が行われました。地域創生部長からは地域活性化施策として大分県地域未来創造総合補助金や、多様な地域資源を活用した観光誘客の促進、生産流通部長からは水田活用・園芸・畜産の生産振興等について、農山村振興部長からは鳥獣被害対策等について、大野川上流開発事務所長からは畑地帯総合整備事業、大谷ダムの防災重点農業用ため池等整備事業について、竹田土木事務所長からは道路改良事業、河川事業、砂防事業等の説明が行われました。懇切丁寧で非常に内容の濃い説明が行われました。

質疑応答では有害鳥獣の最終処分の取り扱いに関する質疑や新規就農者のアフターフォローに関する質疑、大谷ダムに関する質疑、砂防事業について質疑が行われました。

大分県豊肥振興局、大野川上流開発事務所、竹田土木事務所の職員と有意義な意見交換会の場となりました。本研修で得られた知見を議員活動に存分に活用させていただき、本市の安心安全はもとより、産業の発展、地域の活性化の道筋を県関係機関とともに探り、本市の発展に邁進してまいります。



議会人権研修会

竹田市議会では、毎年議員を対象とした「人権研修会」を開催しています。

今年は、９月１日㈫に竹田市教育委員会社会教育指導員の相馬義視さんを講師に招き、「部落差別問題」をテーマに部落差別の歴史や差別がどのように生まれ、今日まで続いてきたのかについて学習しました。また、「差別はする側（自分自身）の問題」であることを考える機会となりました。

講師からは、人のうわさや、ある一面だけで判断するのではなく、先入観を捨て、視点を変えることが大切とのお話がありました。そして、まず自分自身の考え方や言動を振り返り、無意識のうちに偏見や決めつけを持っていないかを見つめ直すことが大切であると学びました。

差別をなくすためには、正しい知識を身につけるだけでなく、学んだことを周囲に伝え、自分自身が具体的に行動していくことが重要であることを改めて認識した研修となりました。





議員所感抜粋

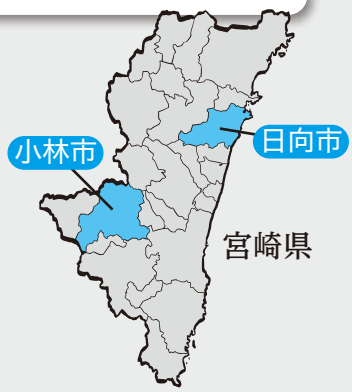
- 差別する側の問題であることを理解し、自身を振り返る大切さを再認識した。
- 色々な分野の事実やスキルを学ぶことが大切。
- 自分の行動・言動、心で人はかわるという事が理解できました。
- 自分の先入観を捨てる。視点を変える。常識で物事を判断しない。
- 自分の言葉に責任をもつ。具体性をもつ。ありがとうと言う。

議会改革調査特別委員会 行政視察報告

議会改革調査特別委員会
委員長　阿南　智博

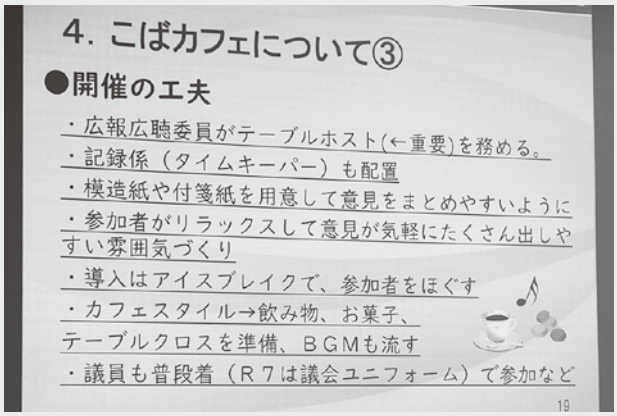
令和８年７月28日から29日にかけて、小林市では広報・広聴の取組について、日向市では議会改革について調査研究を行った。

視察の背景にあるのは、地方議会が住民の関心を喚起できず、無関心層が増大していることが挙げられる。「市民が今、何に困っていて、どのような未来を望んでいるか。」そのことを政策の中心に据えていくためには広報・広聴の取組が極めて重要となる。



小林市

小林市は人口39,000人余りで、議員定数は19人となっている。小林市議会は広報・広聴の強化を図るため常任委員会を設置している。委員会の主な取り組みは、「議会だより」の編集発行である。意見交換会の実施、イベント等での市議会ＰＲ、市議会YouTube及び高校生議会の取組となっている。高校生議会については令和6年からの取り組みだが、高校生との意見交換については、学生に政治や選挙、また議会に対して興味・関心を持ってもらうため、以前から毎年実施してきたとのことで重要な取組だと感じた。



市民との意見交換は「カフェ」のようなリラックスした雰囲気で自由に対話する「こばカフェ」と、教育・文化・福祉・産業などの分野で結成されたグループや団体との「分野別意見交換会」を実施している。市議会YouTubeは本会議の中継と録画配信、さらに一般質問を予定する議員の事前インタビューショート動画を公開している。このショート動画は１分程度で質問内容や、その意図を本人が述べている。この再生回数が格段に伸びて、本会議の再生回数にも好影響が出ており参考になると感じた。



日向市



日向市は人口55,000人余りで、議員定数は20人となっている。日向市議会は議会改革ランキングで上位に位置している。特徴的な取組は「高校生との意見交換会」である。意見交換会のメインテーマを「あなたが描くふるさとの未来」とし、毎年開催で定着している。毎年市内５校の高校を訪問し、対応議員と高校側でテーマ設定や学習を深め、グループ毎に高校生の意見発表をしてもらい、議員と意見交換する仕組みとなっている。周到な準備に裏打ちされているため、多くの貴重な意見が集約されている。また、議会中継やSNSはフルスペックで実施されていると言っても過言ではない。イベントでの市議会コーナーに「なんでも相談コーナー」を設けており、相談者も増加傾向とのことであった。





今回の視察で最も印象に残ったことは、両市とも若者の意見を取り入れることに注力している点であった。



9月13日㈰　大分スポーツ公園クラサスドーム大分

昨年の反省から今年こそは！と張り切っていましたが、蓋を開けてみると皆さん体調不良等でリレーへの参加は断念せざるを得ませんでした。しかし、何とか１点でも得点したい一心で100mには、議員・教育委員の代表として、昨年のメンバーで、アンカーを務めた教育委員の佐藤健吾さんが出走してくれました。元陸上部の佐藤さん。



さすが陸上部！という華麗なフォームで組３位。総合７位で２点を獲得しました！佐藤さんの激走をみて、来年は議員も含めたリレーに参加したいと決意を新たにしました。

監督　賀籠六めぐみ

令和8年第4回(12月)定例会日程のお知らせ

令和8年第4回(12月)定例会の議会日程(予定)をお知らせします。

11月26日㈬	議会運営委員会、全員協議会	
12月　1日㈫	本会議（議案の上程、諸報告ほか）	
7日㈪	本会議（一般質問）	中継 LIVE
8日㈫	本会議（一般質問）	
9日㈬	本会議（一般質問）	
11日㈮	本会議（質疑、委員会付託ほか）	録画放送
11日㈮	予算特別委員会	
14日㈪	予算特別委員会	
17日㈭	総務産建常任委員会	
18日㈮	社会文教常任委員会	
22日㈫	議会運営委員会、全員協議会	
22日㈫	本会議（委員長報告・採決ほか）	録画放送

※会議の日程等は変更になる場合があります。
※その他、議会情報は竹田市議会ホームページをご覧ください。
※生中継、録画放送はたけたケーブルテレビで放送します。

竹田市議会報告会開催のお知らせ

竹田市議会では、市民のみなさまに議会の役割や活動について知っていただくため、「議会報告会」を開催します。議会をより身近に感じていただけるよう、わかりやすくご紹介します。みなさまのご参加をお待ちしています。

※詳しくは、竹田市議会ホームページ、12月の自治会長文書でお知らせします。

開催日程・会場

日　時	地区	会　場
1月18日㈰ 18時～19時30分	荻	荻公民館 荻町馬場367
	久住	久住公民館 久住町大字久住6154
1月22日㈭ 18時～19時30分	直入	直入公民館 直入町大字長湯8208-6
	玉来 松本 菅生 入田 嫗岳 宮砥	松本分館 大字穴井迫662-1
2月6日㈯ 13時30分～15時	竹田 岡本 明治 豊岡 宮城 城原	竹田市総合社会福祉センター 大字会々1650

各会場とも同じ内容で実施します。ご都合のよい会場にお越しください。

【お問い合わせ】
竹田市議会事務局　電話63-4813　FAX63-0995
Mail：gikai@city.taketa.lg.jp
※会場への直接のお問い合わせはご遠慮ください。

photograph

写真提供者
亀井　英孝 氏
HIDETAKA KAMEI
1977年生まれ
竹田市久住町　在住

Profile
城原八幡社の秋期例大祭前夜祭に奉納された神楽、八雲払いの一番面。大蛇も終盤になるにつれ手強くなり、素戔嗚尊(すさのおのみこと)との駆け引きの迫力は見る者を魅了する。

「市議会だより」についてのご感想をお寄せください。
いただいたご感想を今後の誌面構成等に活かしてまいります。

発行：竹田市議会
編集：竹田市議会だより編集委員会
竹田市大字会々1650番地
TEL：0974-63-4813

竹田市議会

UD FONT　たけた市議会だよりは、見やすく読みまちがえにくいユニバーサルデザインフォントを採用しています。

環境に配慮した再生紙を利用しています。